

保活ワンストッププロジェクト第2回運営会議 議事要旨

日 時 令和7年12月24日(水曜日)13時から14時30分まで

場 所 オンライン

出席者

【委員】

福田 巖 東京都デジタルサービス局 プロジェクト推進担当部長
土田 文紹 一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長
森 弘 板橋区子ども家庭部保育サービス課長
大熊 明彦 (代理出席) 江東区こども未来部保育支援課 保育サービス係長
斉藤 宏 八王子市子ども家庭部 保育幼稚園課長
伊藤 賢 私立栄町保育園 園長
鶴見 喜美子 江東区立森下保育園 園長
古居 直高 (代理出席) こども家庭庁成育局保育政策課 主査

【オブザーバー】

土岐 泰之 一般社団法人こども DX 推進協会 理事
岡井 隼人 内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官

【関係事業者】

デロイトトーマツコンサルティング合同会社
BABYJOB 株式会社
株式会社コドモン
ユニファ株式会社
日本ソフト開発株式会社
株式会社エクシオジャパン
株式会社両備システムズ
株式会社ゼネット

【事務局】

竹内 智美 東京都デジタルサービス局デジタル戦略部こども DX 推進担当課長
木村 麻美 東京都デジタルサービス局デジタル戦略部デジタル企画調整課 課長代理
多宇 厚 一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部 エキスパート
望月 友航 一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部 シニアスタッフ
以下、担当

■次第1 開会・出席者紹介

竹内 こども DX 推進担当課長：

- 資料（スライド3～4）に沿って説明

■次第2 運用状況の共有

竹内 こども DX 推進担当課長：

- 資料（スライド5～6）に沿って説明

■次第3 効果測定の結果について

竹内 こども DX 推進担当課長：

- 資料（スライド7～15）に沿って説明

■次第4 新規機能の開発について

木村 課長代理（事務局）：

- 資料（スライド16～19）に沿って説明

多宇 エキスパート（事務局）：

- 資料（スライド20）、実機投影にて説明

望月 シニアスタッフ（事務局）：

- 資料（スライド21）、実機投影にて説明

木村 課長代理（事務局）：

- 資料（スライド22）に沿って説明

竹内 こども DX 推進担当課長：

- ここまでの説明について、意見交換を行いたい。各委員・オブザーバーからご発言をお願いする

古居 委員代理（こども家庭庁成育局保育政策課 主査）

- 3点質問したい。1点目、機能が実装されたばかりではあるが、オンライン相談についてどのような内容の相談が多い傾向にあるか、現時点で把握していることがあれば教えていただきたい。2点目、指数シミュレーションの共有機能について、ニーズや実装に至った経緯について教えていただきたい。3点目、オンライン相談、指数シミュレーションについて、導入自治体の感想を教えていただきたい

木村 課長代理（事務局）：

- 1点目について、相談内容の詳細な分析はこれから行うが、現時点で予約を確認したところ、自身の家族状況を踏まえて「この状況で保育園に入れるか」「入園の可能性はどのくらいか」や、「何から始めたらよいか」「見学はどう申し込むか」など保活の進め方の相談などが多い印象
- 2点目について、共有機能を付けた背景は、例えば、妻がシミュレーションした結果を夫に簡単に共有でき、また、結果だけでなくどの質問にどう回答してその点数になったかといった過程も共有できる仕様になっている。これにより、算出された指数が自身の家庭状況に合っているかを家族で確認できるようにすることを想定し、実装した

竹内 こどもDX推進担当課長：

- 3点目については、各自治体からご意見、ご感想を伺いたい

森 委員（板橋区子ども家庭部 保育サービス課長）

- 指数シミュレーションを1月から開始するが、保護者が回答した内容に基づき指数が自動計算できるので、非常に期待している。指数シミュレーションで自動計算ができることを保護者に周知していきたい

大熊 委員代理（江東区こども未来部保育支援課 保育サービス係長）

- オンライン相談については、現時点で相談実績はないが、予約の受付は始めている。事前に、保護者が聞きたいことを記入いただけるので、自治体側からすると準備ができる点が利点と感じている
- 指数シミュレーションについては、保護者自身で簡単に確認できるので非常に便利なものになると思う。一方で、指数シミュレーションの試算結果と、実際の利用調整で計算した指数が異なる可能性がある。選考後、保護者とトラブルにならないかという点は懸念している
- 最後に、オンライン相談と指数シミュレーションは、令和9年度以降、国基盤での実装が未定と認識しているが、自治体側としては、保護者にとって非常に便利な機能だと考えているので、ぜひ国基盤でも実装していただきたく、要望として申し上げる

竹内 こども DX 推進担当課長：

- 要望について、こども家庭庁様から情報提供いただけることがあればご発言をお願いしたい

古居 委員代理（こども家庭庁成育局保育政策課 主査）

- 今後も東京都での実証結果も踏まえて検討したい。指数シミュレーションについては、令和7年度の補正予算で改修に必要な経費を計上している。引き続き、結果を踏まえて検討したいと思うのでご協力をお願いしたい

竹内 こども DX 推進担当課長：

- 最後に、八王子市の斉藤委員から、ご意見、ご感想をお願いしたい

斉藤 委員（八王子市子ども家庭部 保育幼稚園課長）

- オンライン相談については、繁忙期に入る時期でもあったため、まずはスモールスタートとして開始している。予約枠を6枠設けたが、4枠がすぐに埋まり、ニーズの高さを実感しているところ。相談内容については、4件中3件が窓口に来ることが難しい方からのご相談。例えば、今後八王子市へ転入予定で手続きについて確認したい方、また出産を控えて病院から外出できない方など、移動が困難な状況でも相談したいという声が寄せられている
- 場所に制約されずに相談できるという大きな利点を提供しており、保護者にとっての利便性やニーズは高いものと認識している。特に八王子市の場合、地域が広いことから、現在は駅前事務所に職員を配置し、子ども関連の窓口業務を行っている出先機関も設けている。物理的に本庁から離れていることもあり、繁忙期かどうかにかかわらず、一定の人員を配置し続ける必要があるという課題がある。今後、オンライン相談の需要に対応できるようになれば、こうした出先窓口を段階的に縮小し、例えば、オンライン相談をよりメインとして位置づけ、限られた人員をより効率的に配置できるようになるなど、業務運営の柔軟化も期待できる
- 一方で、オンライン相談を受ける場所の確保が難しい点が課題としてある。予約は把握しているものの、庁内で対応スペースを確保することが難しく、周囲の声が入らないようにしながら、事務スペースの一角で調整しながら対応している状況。今後は、より適した環境づくりや運用方法の工夫が必要と考えている
- 指数計算方法について、保育指数は入園のしおりにも載せているが、分かりにくいところもあると思う。指数シミュレーションを使うと理解しやすいと思うので、「指数表を見ればなんとなく分かるが、念のため市役所に聞いてみよう」のような問い合わせの削減につながれば、窓口の事務負担軽減も期待できる
- 保護者が試算した結果と、利用調整の結果が違う場合、多少のクレームをいただく可能性はあると懸念している

竹内 こども DX 推進担当課長：

- 皆様から貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。保護者からのお声については、今後も東京都にご共有いただきたい

以上